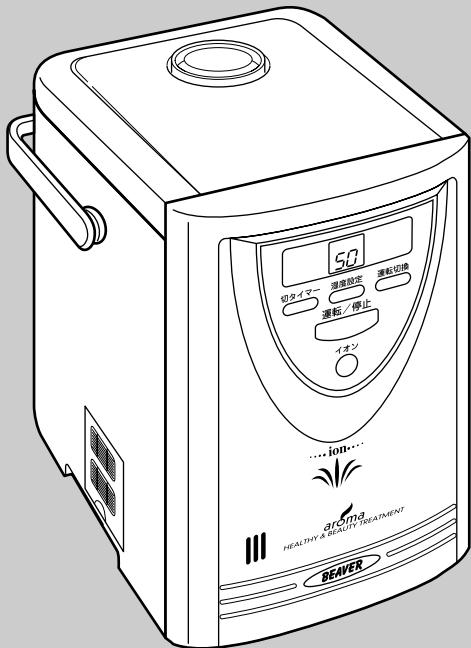


ビーバー インバータ 加湿器 取扱説明書

形式 SHE50AR



●このたびはビーバーインバーター加湿器をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。その後は大切に保管してください。

万一ご使用中にわからない時や、異常が生じた時に、きっとお役にたちます。



保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

もくじ

ページ	
•安全上のご注意	2・3
•ご使用にあたってのお願い	4
•各部のなまえとはたらき	5・6

使う
まえ

•準備	6
・タンクに水を入れる	6
・電源コードを接続する	7

準備

•正しい使いかた	7
・運転開始	7
・おまかせ運転	8
・湿度設定のしかた	8
・おやすみ運転のしかた	8
・節約運転のしかた	8
・切タイマー運転のしかた	9
・アロマスチーム	9
・タンクの水がなくなると	9
・停止	9

正しい使いかた

•お手入れのしかた	10
・お手入れを始める前に	10
・本体のお手入れ	10
・タンクのお手入れ	10
・本体内部のお手入れ	11
・吸気口のお手入れ	12
・蒸発布の交換	12

お手入れのしかた

•リモコン運転のしかた	13
•保管のしかた	13
•仕様	13
•故障かな?と思ったときは	14
•保証とアフターサービス	15

こんなとき

▷保証書

(裏表紙)

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告

誤った取扱いをしたときに、人が死亡または重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

⚠ 注意

誤った取扱いをしたときに、人が傷害を負ったり物的損害等の重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- 本文中に使われる“図記号”的意味は次のとおりです。

	絶対に行かないでください。
	必ず指示に従い、行ってください。
	電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
	水をつけたり、かけたりしないでください。
	修理技術者以外の人は行わないでください。
	蒸気吹出口にさわったりしないでください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

- 改造はしない。また修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。



火災・感電・けがの原因となります。
分解禁止

- 修理はお買いあげの販売店、または修理相談窓口にご相談ください。

- マグネットプラグ、プラグ受けにピンやごみを付着させない。



ショートして、火災・感電の原因になります。
禁止

- 電源プラグ、マグネットプラグ、プラグ受けのほこりなどは定期的にとる。



ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 使用中以外は電源プラグを抜いてください。

- AC100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する。



AC100V
15A以上

AC100V以外、または他の器具と併用すると火災・感電の原因になります。

- ぬれた手で電源プラグ、マグネットプラグを抜き差ししない。



感電やけがをすることがあります。
禁止

- 電源コードを引っ張らない、傷つけない、加工しない、束ねない、上に物を載せない。



電源コードが破損して火災・感電の原因となります。
禁止

- 蒸気吹出口、吸気口及びマイナスイオン発生口のすき間にピンや針金などの金属物など異物を入れない。



内部に触れたり、異常動作して、感電やけがの原因になります。

- 蒸気吹出口をさわったり、顔を近付けない。



やけどの原因になります。
(蒸気吹出温度)
約55°C
接触禁止

- 異常時(コケくさい臭いなど)は運転を停止して電源プラグを抜く。



プラグを抜く

そのままにする
と火災・感電の原因になります。
運転を停止して、
お買いあげの販売店または、お客様まで相談窓口にご相談ください。

警告

■ 幼児の手の届く範囲では使用しない。



禁止

感電・やけどをすることがあります。

■ マグネット式プラグを乳幼児が誤ってなめないように。



禁止

感電やけがの原因になります。

■ お手入れの際は、必ず電源プラグ、マグネットプラグを抜いてから行う。



電源プラグ
を抜く

不意に作動して、やけどしたり、感電の原因になります。

■ 電源プラグ、マグネットプラグを抜くときは電源コードを持たず、プラグを持って抜く。



プラグを
持って抜く

コードがショートや断線して、火災・感電の原因になります。

■ 本体を水につけたり、水をかけたりしない。



水ぬれ禁止

本体底面や送風口から水が回りこんで火災・感電・ショートの原因になります。

■ お手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使用しない。



使用禁止

有毒ガスが発生し、健康を害することがあります。

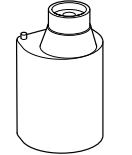
■ 排水するときは、ダクトをはずしてから排水方向に排水する。

11ページ

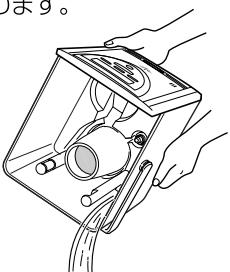


排水方向
から

手順と排水方向を誤ると、送風口から水が回りこんで火災・感電・ショートの原因となります。



ダクトを外す



■ 使用中や使用直後は持ち運ばない。お手入れをしない。



禁止

加熱筒・吹出口に触ると、やけどの原因になります。

■ 不安定な場所や傾斜した場所には置かない。



禁止

転倒すると熱湯がこぼれ、やけどの原因になります。

注意

■ 蒸気吹出口をふさがない。



禁止

蒸気吹出口をふさぐと変形・故障や火災の原因になります。

■ 上部カバーやダクトをはずして使わない。



使用禁止

蒸気が吹出してやけどの原因になります。

■ 使わないときは電源プラグをコンセントから抜く。



電源プラグ
を抜く

絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

■ 落としたタンク・本体は使わない。



使用禁止

そのまま使うと破損箇所から水漏れしてショート・感電・発火の原因となります。お買上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

■ 暖房機・テレビなどの電化製品や、熱に弱いテーブルなどの上に置かない。



設置禁止

転倒すると感電・ショートの原因になります。また本体底面の熱によりテーブルの変形・変色の原因になります。

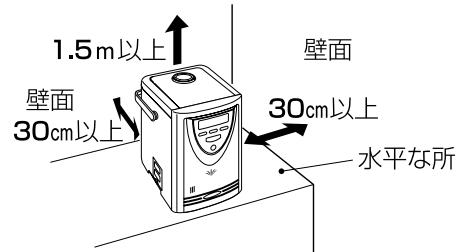
ご使用にあたってのお願い

製品の破損・劣化・誤作動を防止するために、必ずお守りください。

◎設置について

設置場所

- 必ず安定した水平な所に置いてください。
- 蒸気による本体の誤動作・劣化・破損、および壁・家具などの变形、シミ防止のため、図のように周囲との距離を十分にとつてください。
- 加湿器をエアコンと連動でお使いの時はエアコンの正面位置に設置した方が加湿器の受信部に信号が受けやすく運転・停止することができます。



次の場所では使用しない

- 直射日光があたる場所、暖房機の上や近く、または温風があたるところ（変形・変色したり、湿度センサーが誤動作することがあります。）
- 蒸気が家具・壁・カーテン・天井やパソコンなどに直接あたるところ（家具・壁にシミが付いたり、変形やパソコンの故障の原因になります。）

◎使用について

■蒸発布には充分水が含まれ浸透している状態が必要です。

- ①初めてお使いになる時や、新しい蒸発布に交換した時および、シーズンの使い始めの時はタンクをセットしてから約10分間待ってから運転スイッチを入れてください。
- ②蒸発布は加湿と同時に水道水内の不純物（スケール）を取り除く為、蒸発布にスケールが堆積しています。

スケールとは水道水に含まれている残留物（カルシウム・マグネシウム・シリカ・鉄分）が濃縮し固着した物です。

- ③蒸発布を交換せずに使っているとスケールが固まり、蒸発布の吸水能力が落ち、運転がたびたび停止する場合があります。

蒸発布は必ず運転時間500～600時間を目安に交換してください。（1日8～10時間運転で約2ヶ月）

■必ず水道水（飲用）を使う。

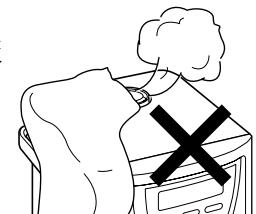
- ・温水（40℃以上）、化学薬品、汚れた水、芳香剤、アルカリイオン水などを入れると本体の変形や故障の原因になります。

■上部カバーやダクトをはずして使わない。

- ・蒸気が吹出してやけどの原因になります。

■蒸気吹出口をふさがない。

- ・蒸気吹出口をふさぐと変形・故障や火災の原因になります。



■加湿しすぎない。

- ・加湿のしすぎは室内が結露したり、故障の原因になります。
- ・標準として設定温度50%をお勧めします。

◎加湿の目安について

加湿できる部屋の広さの目安は下の表のとおりです。

適用床面積の目安

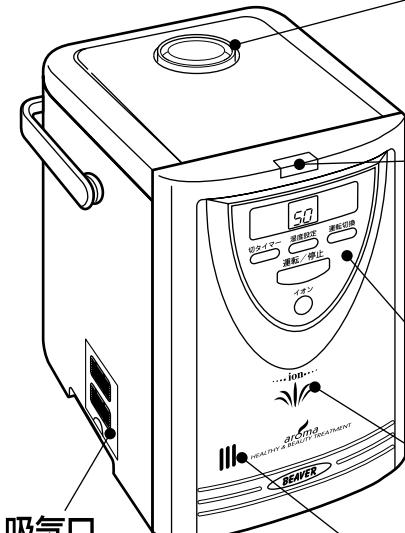
形式	木造和室		プレハブ コンクリート 洋室	
	m ²	畳	m ²	畳
SHE50AR	14	8.5	23	14

- 住宅構造や洋室、和室の違いなどによって異なります。目安としてお使いください。

- 適用床面積の目安は日本電機工業会規格（JEM 1426）に基づき、プレハブ・コンクリート住宅洋室の場合を最大適用面積として木造和室の場合を最小面積としたものです。

各部のなまえとはたらき

本体



吸気口(BIOフィルター)

- 吸込んだ空気のゴミやホコリを取り除き、捕集した細菌・カビ・ウィルスを除菌します。

リモコン [別売部品]

- 運転／停止を離れた位置からおこなうことができます。



吹出口

- 約55℃の蒸気が出て加湿します。(さわらないでください)

リモコン(エアコンからの) 信号受信部

- リモコンでの運転/停止信号の受信部

13ページ

操作部

- 運転操作及び運転動作を液晶表示でお知らせします。

マイナスイオン発生口

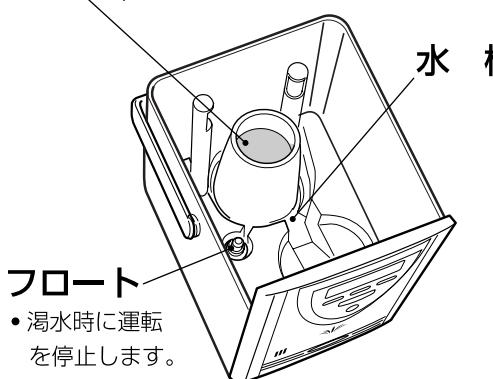
Wセンサー (温度と湿度)

- 空気取入口



加熱筒(ヒーター内蔵)

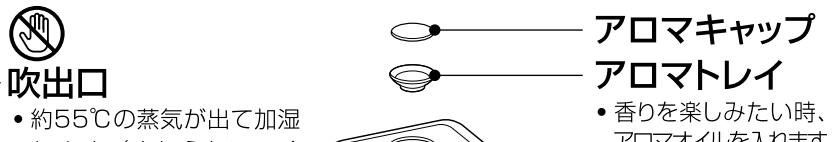
- 水を吸い込んだ蒸発布を加熱します。
(運転中、運転直後に手を触れないでください。やけどの原因になります。)



フロート

- 渴水時に運転を停止します。

水槽



アロマキャップ

アロマトレイ

- 香りを楽しみたい時、アロマオイルを入れます。

上部カバー

タンク

- 加湿用の水(水道水)を入れます。

タンクキャップ

ダクト

- 蒸気と室内空気を混合させ吹出口へ導きます。

蒸発布

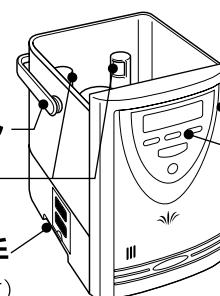
- 加湿兼スケール処理用布
(交換部品)

蒸発布は消耗品です

ハンドル 送風口

本体取っ手

(左右にあります)



本体

操作部

6ページ

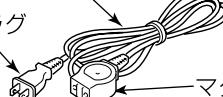
背面部

水位確認窓

- タンク内に残っている水の量を確認することができます。
(例:1/4→残り水量1/4を示します)

電源コード

電源プラグ



マグネットプラグ

安全上の注意ラベル



蒸発布(別売品)

お買い上げの「販売店」にて、お買い求めください。

または添付の「払込取扱票(郵便局)」でもお求めできますが、約1週間程度かかります。

名称: 加湿器交換用蒸発布 形番: SHES501 (2枚入) 希望小売価格 1,260円 (税込)

1) 運転時間 500~600 時間を目安に交換してください。(1日8~10時間運転で約2ヶ月)

2) 蒸発布がスケールで固くなつて運転がたびたび停止する場合も交換してください。

操作部

説明のため、液晶表示部はすべて表示してあります。

液晶パネル

運転中にバックライトが点灯
快適湿度に到達するとバックライトの色が橙色→
緑色に切り替わってお知らせ

省エネモニター

インバーター運転における
加湿能力の変化にあわせモニター表示

切タイマー表示

切タイマー運転
残り時間をデジタル表示

切タイマースイッチ

切タイマー運転時間の設定
を行うスイッチ

運転／停止スイッチ

「運転」「停止」を行うスイッチ

湿度表示(目安を表示します)

通常運転中は現在湿度をデジタル表示し設定湿度表示
は湿度の設定中のみデジタル表示

乾燥マーク

停止中に湿度35%以下で点滅し、
お部屋の乾燥をお知らせ

給水マーク

タンクの水がなくなると点滅表示
してお知らせ

運転マーク

運転中のモードを点灯表示

運転切換スイッチ

運転モードの切換を行うスイッチ

湿度設定スイッチ

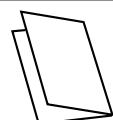
お好みの湿度設定の切換を行うスイッチ

マイナスイオンスイッチ

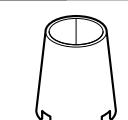
マイナスイオン運転中はブルーのライトが点灯

付属品

包装ケース内及び本体内から取出して大切に保存しておいてください。



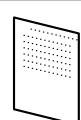
取扱説明書



予備の蒸発布



払込取扱票
(蒸発布お申込み用紙)



ご愛用者カード
(記入後提出ください)



電源コード



アロマオイル
(試供品)



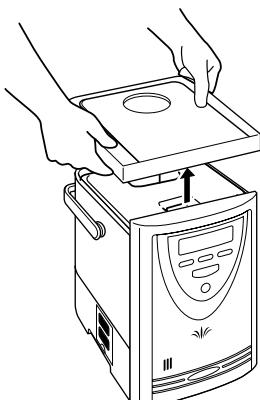
準備

⚠警告

この加湿器はAC 100 V専用です。100 V以上の電源
に差し込むと焼損や故障の原因になります。

1.タンクに水を入れる

- (1)上部カバーを外し
タンクを取り出してください。
(2)タンクキャップを
外し水道水(飲用)
を入れてください。



- (3)タンクキャップを締め、タンクを本体にセッ
トし、上部カバーを取り付けてください。

○お願い

- ダクトが装着されていることを確認してください。
- タンクキャップを確実に締め水漏れがないことを確認してください。
- タンクに付いた水はきれいに布で拭き取ってください。
- 水槽および送風口(支柱部)内部に直接水を入れないでください。
- 給水のときタンクを損傷させないでください。
- 温水(40°C以上)、薬品、洗剤、化学薬品などは故障の原因になりますので入れないでください。
- 井戸水は使用しないでください。
- 本体を移動するときは、タンクを取り出してから移動し改めてタンクを取り付けてください。

2.電源コードを接続する

- (1)マグネットプラグを本体背面下部のプラグ受けに接続してください。
- (2)電源プラグをコンセントに差し込んでください。

○お願い

- ・プラグを持って確実に差し込んでください。
- ・同時にファンが回り出しますが、異常ではありません。
- ・現在の湿度(目安)をデジタル表示します。



デジタル湿度表示

現在湿度を表示
（・30～80%の範囲で1%単位表示）
（・30%未満のとき「Lo」表示）
（・80%を超えたとき「Hi」表示）
目安としてお使いください。

お知らせ

- ・湿度表示は本体正面の空気取入口にあるセンサーで測った湿度を表示します。
- ・停止中は本体内部が冷えて、高い湿度表示になる場合があります。湿度表示をより安定させるため、強制的にファンが回り出します。（2分運転、10分停止の断続運転を繰り返します。）異常ではありません。

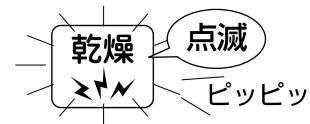
●お願い

蒸発布には充分水が含まれ浸透している状態が必要です。

- ・タンクをセットしてから約10分間待ってから運転スイッチを入れてください。蒸発布へ給水させるため、早めにスイッチを入れますと停止する場合がありますが異常ではありません。この場合しばらく（約2～3分）時間をおいて再度スイッチを入れてください。

乾燥ウォッチャーについて

- ・停止中でもお部屋の湿度状態が一目でわかるように現在湿度をデジタル表示します。
停止中に湿度が35%以下になると乾燥マークの点滅とブザーで乾燥気味状態をお知らせします。加湿する目安としてご利用ください。
(周期的にファンが回ったり、止まったりします。)



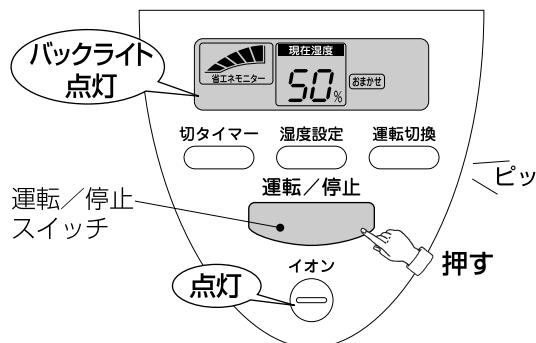
尚、もし気になる場合には、ファン断続運転及び、乾燥時のブザー音を消すことができます。

方法：「運転切換スイッチ」を5秒以上押すことにより消えます。もう一度スイッチを押すと元に戻ります。

正しい使いかた

1.運転開始

- (1)運転／停止スイッチを押してください。



- ・スイッチを押すと「ピッ」と音がしてバックライト及び省エネモニターが点灯し、あらかじめ設定されている「おまかせ」運転モードで加湿を開始します。約1～3分後に蒸気が出ます。
また同時に、マイナスイオンスイッチ部が点灯し、マイナスイオンを発生します。

お知らせ

- ・おまかせ運転モード以外で運転する場合は運転切換スイッチにて選択してください。 [8ページ]
- ・現在湿度表示は本体正面の空気吸込み近くにあるセンサーで測った湿度を表示します。
- ・使いはじめは、本体内部が冷えているため、高い湿度表示になることがあります、運転すると下がって正常になります。
- ・同じ部屋でも場所や高さによって湿度が異なるため、お手持ちの他の湿度計と差が出る場合があります。異常ではありません。湿度表示は目安としてお使いください。

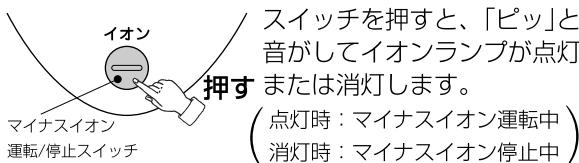
（加湿器の湿度センサーと湿度計では、精度や加湿の変化に対する応答の速さなどが違うため、同じ位置に置いても湿度差が出る場合があります。）

- ・運転中は水が沸騰する音が聞こえますが異常ではありません。
- ・初めてお使いになる時、短時間ですがヒーター発熱のため多少においがすることがありますが異常ではありません。
- ・部屋の温度、湿度の状態によっては蒸気が見えにくいことがあります。

マイナスイオン単独運転の場合

本機はマイナスイオン発生器を搭載しています。加湿運転と同時にマイナスイオンを発生させ、加湿のしっとり感と合わせて、お部屋の中にリラックス効果がひろがります。加湿運転「停止」時でも「マイナスイオン単独運転」ができます。

(1)マイナスイオンスイッチを押します。



○お願い

マイナスイオン発生口には絶対にさわったりピンや針金などの金属物を差し込まないでください。感電やけがをしたり、故障の原因になります。

2.おまかせ運転

Wセンサー(温度と湿度)により室内温度をチェックしながら室温に合わせた、きめ細かな湿度設定での自動運転を行います。風邪、インフルエンザのシーズンにおすすめします。

- ・風邪の原因と言われるウイルスは湿度が低い状態(乾燥気味)になると非常に感染力が強くなります。風邪の予防には適度な加湿が必要で自動的に最適な設定湿度で加湿をします。

○室温と設定湿度の関係(どの粘膜の乾燥を抑えます)

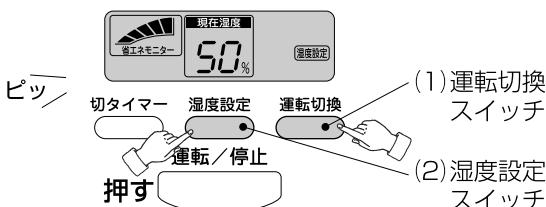
室内温度 設定湿度	15℃以下	16~19℃	20~22℃	23~24℃	25℃以上
50%					○
55%				○	
60%			○		
65%	○				
70%	○				

お知らせ

- ・湿度の設定は上表により自動的に室温の変化によって切換ります。(湿度の設定の変更はできません)
- ・室温が低い時は湿度が高めに設定されているため、湿度が上がりすぎて、窓や押入れなど結露する場合があります。

3.湿度設定のしかた

(好みの湿度に設定したいときにお使いください。)



(1)運転切換スイッチを押します。

- ・押すたびに「ピッ」という音がして、下記のように表示ランプが変わりますので、「温度設定」モードを選びます。



(2)湿度設定スイッチを押します。

- ・押すたびに「ピッ」と音がして、設定湿度が下記の順に表示が変わります。



お知らせ

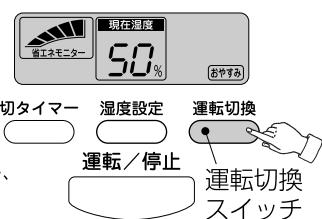
- ・湿度設定スイッチを押した後、3秒間は設定湿度をデジタル表示します。その間に再度湿度設定スイッチを押すと設定湿度が40~60%の間で5%単位に変わります。
- ・設定湿度を確認するには再度、湿度設定スイッチを押すと設定値が約3秒間表示します。
- ・設定された湿度に達すると自動的に湿度を一定に保つためにインバーター運転により加湿能力を抑えた運転に切換わります。
(バックライトの色が橙から緑に変わります)

4.おやすみ運転のしかた

(おやすみのときなど、静かに長時間うるおい運転をしたいときにお使いください。)

(1)運転切換スイッチを押しておやすみ運転モードを選びます。

- ・おやすみ運転マークが点灯し、おやすみ運転に入ります。



お知らせ

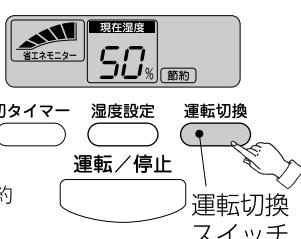
- ・加湿能力を抑えた運転を行ない、湿度の設定も50%固定に切換ります。(湿度の設定の変更はできません。)

5.節約運転のしかた

(設定湿度に達すると加湿能力を低く抑えた運転に切り換わります。節約したいときにお使いください。)

(1)運転切換スイッチを押して節約運転モードを選びます。

- ・節約運転マークが点灯し節約運転に入ります。



お知らせ

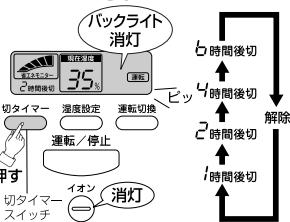
- ・湿度の設定は自動的に50%固定に切換ります。(湿度の設定の変更はできません。)

6.切タイマー運転のしかた

(自動的に運転を止めたいときにお使いください。)

(1) 切タイマー設定スイッチを押します。

- 押すたびに「ピッ」という音がして設定時間が右記の順に切換わります。(バックライトは消灯し、マイナスイオン運転は停止します)



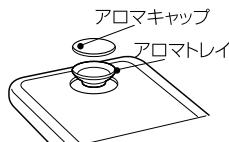
お知らせ

- 4時間のタイマー運転を行った場合、最初は4時間のデジタルが点灯しますが、1時間経過しますと3時間のデジタル表示になり、1時間毎に切換わります。
- タンクの水量が少ないとタイマーが切れる前に給水ランプが点灯しますので、切タイマー運転を行う前には水を給水しておいてください。切タイマー運転中にタンクの水がなくなると、給水マークの点滅のみでお知らせします。(ブザー音は鳴りません。)
- タイマー運転の終了後は、加湿は自動的に停止します。停止後、本体の温度を下げるためファンは10分間回ってから停止します。(以後ファン断続運転を繰り返します) 現在湿度表示(デジタル表示)以外はすべて消えます。

7.アロマスチーム

加湿しながら香りを楽しみたいときにお使いください。
(付属のアロマミニ辞典を参考にご覧ください)

(1) 吹出口中央のアロマトレイに試供品または市販のオイルを数滴入れてください。



お知らせ

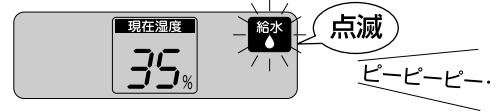
香りの持続時間は室内の温度、湿度によって異なります。

●お願い

- アロマオイルのセットは必ず運転する前に行ってください。(やけどの原因になります。)
- アロマオイル(エッセンシャルオイル)はデパートや専門店でお求めください。
- 使用に際し、取扱いについてはオイルの取扱説明書をよくお読みください。
- オイルが本体についたらすぐに拭きとってください。(変色する場合があります。)
- オイルが手についた場合は、石鹼でよく洗い落としてください。
- 気分が悪くなったら、使用を中止してください。
- 香りの違うアロマオイルを使用する場合はアロマトレイを取りはずし、中性洗剤で洗い、水で充分洗い流してください。

8.タンクの水がなくなると

タンクの水がなくなると、自動的に加湿を停止させ給水マークが点滅し、ブザーで(「ピー...」と5回鳴ります。)お知らせします。



お知らせ

- 給水マークが点滅しても、本体の温度を下げるためファンは10分間回ってから停止します。
- 給水マークと現在湿度デジタル表示以外の表示マークは10分後すべて消灯します。
- 給水マーク点滅中はすべての操作は受け付けません。

◎続けて使うときは給水し、本体にセットしてください。

給水マークが消灯し、給水マーク点灯前の運転モードで運転します。

お知らせ

- 給水マーク点滅後10分以内(バックライトは点灯中)であれば自動的に再運転します。
- 10分以上給水されない時(バックライトは消灯)は再度運転スイッチを押してください。

9.停止【運転を終了したい時は】

(1) 運転/停止スイッチを押してください。



○お願い

運転終了後もしばらくは蒸気が出ますので、吹出口にさわったり、顔などを近付けないでください。やけどをすることがあります。

お知らせ

- 運転スイッチを「停止」にしても本体の温度を下げるため、ファンが約10分間回って停止します。(以後ファン断続運転を繰り返します)
- 運転を停止しても、電源プラグを抜かずに、再び運転する場合、停止前の運転モードで運転します。但し、タイマー運転の設定は記憶されていません。
- 電源プラグを抜くと全ての記憶は解除され、新規設定となるため、あらためて各運転モードを設定してください。

お手入れのしかた

⚠警告

お手入れの際は必ず差込みプラグをコンセントから抜くこと。
また、ぬれた手で抜き差ししないこと。
感電やけがをすることがあります。



プラグを抜く

お手入れに塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使わないこと。

洗浄剤が残り、有毒ガスが発生することがあります。



禁止

使用中や使用直後は、お手入れをしないこと。運転停止後、約30分以上たってからお手入れしてください。
高温部に触れ、やけどの原因になります。



禁止

◎いつでも快適にご愛用頂くためにも、つぎのお手入れを行ってください。ご使用の状態(時間・周囲の環境)により異なりますので、日常、汚れたら早めにお手入れをしてください。

1.お手入れを始める前に

(1)運転／停止スイッチを押して「停止」してください。

お知らせ

- 運転停止後、本体の温度を下げるため、ファンが約10分間回って停止します。

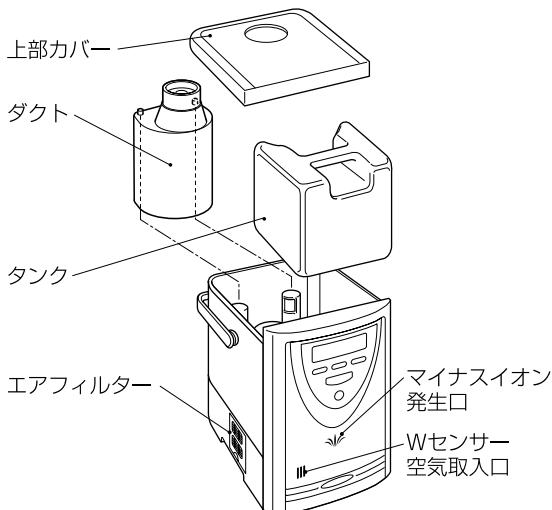
(2)停止後しばらくは加熱筒や蒸発布がまだ高温になっていますから約30分以上たってからお手入れしてください。

(3)電源プラグをコンセントから抜いてください。

△注意

- 使用直後は、手入れをしないでください。
(高温部に触れ、やけどの原因になります。)

(4)各部を取りはずしてください。



2.本体のお手入れ

(1)柔らかい布などで汚れをふき取ってください。

(2)汚れがひどい場合は中性洗剤溶液に浸した柔らかい布を固くしぼってふき取り、その後はよくからぶきをしてください。

○お願い

- 変質・変色防止のためにベンジンやシンナー、アルコール、アルカリ洗剤などは絶対に使用しないでください。

3.タンクのお手入れ

●お願い

- タンクに水を入れたまま放置しておきますと運転したとき臭いが出る場合があります。
- タンクの水は2週間に1度交換してください。
(お手入れをせずに使用しますと、水あかが付着し臭いの原因になります。)

(1)汚れがひどい場合は、
タンクに水を少量いれ、
キャップを締めて振り
洗いをし、排水してく
ださい。



(2)柔らかい布で内部をきれいにふいてく
ださい。

4.本体内部のお手入れ

- 使用する水道水の水質によって、加熱筒の廻りに赤茶色のスケールが溜まり時間と共に汚れてきます。
- お手入れせずに使用しますと、スケールが取れにくくなったり、正常に作動しなくなる事があります。
2週間に1回程度、内部の汚れを点検してください。汚れがひどい場合には次の手順に従い内部の清掃をしてください。

(1) 水槽内の水を捨ててください。

本体内に表示の排水方向から排水してください。
(送風口に水が入らないように、ゆっくり注意しながら排水してください。)



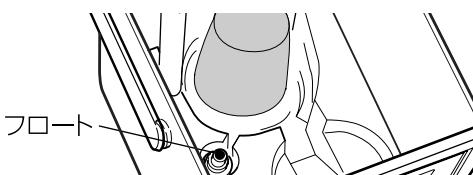
(2) 蒸発布の取り外し

- 加熱筒より蒸発布を引き上げて外してください。
- ①両手で蒸発布を押し広げ加熱筒との隙間を作ります。
 - ②蒸発布の上部を両手で持って上側に引き出します。

(3) 水槽内及び加熱筒についた汚れを柔らかい布でふいてください。

加熱筒にスケールが多量に付着しますとスケールの除去が困難となります。

(4) フロートの回りが汚れていれば汚れをとってください。



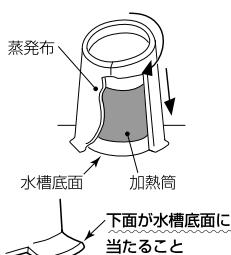
(5) 蒸発布の汚れが少ない場合は、水で軽くもみ洗いしてください。

- 蒸発布が固くなっていたり、コゲ茶色に変色している場合には、新しいものと交換してください。
(12ページをご覧ください)

(6) 蒸発布の取りつけ

蒸発布を加熱筒に取り付けてください。

- ①蒸発布を加熱筒にかぶせ、蒸発布を両手で左右前後に広げながら、押し込んでください。
- ②蒸発布下端部が全て水槽底面につくまで押し込んでください。



△注意

運転停止後は蒸発布も熱くなっていますので、やけどの注意してください。

△警告

排水するときは、必ずダクトをはずして排水方向から排水してください。



排水方向を誤ると、支柱部の送風口から水が回りこんで、火災・感電・ショートの原因になります。

●お願い

カラカラに乾いている時や外しにくい場合は、蒸発布に水を含ませてから取り外してください。
(この場合、蒸発布から水滴が落ちます。
(受け皿等でぬれないように注意してください。床ぬれ等の原因となります。)

●お願い

- ・加熱筒の汚れがひどい場合は歯ブラシなどで水洗いをして、スケールを洗い落としてください。
- ・加熱筒の表面はテフロン加工のため金属タワシなど固いものでこすらないでください。
(加熱筒に傷がつき、故障の原因になります。)
- ・手についたスケールおよび汚れは石けん水で落としてください。

○お願い

フロートは取りはずさないでください。
(フロートには上下方向があり、方向をまちがえますと誤動作の原因となります。)

お知らせ

- ・蒸発布を一旦水に浸した後、絞ってから押し込むとさらに入りやすくなります。
- ・取り付けが悪いと水の吸い上げが悪くなり、運転がたびたび停止する場合があります。又、水槽内の水温が上がり、上部カバーの内面に結露する場合があります。

(7) ダクトは水洗いしてください。

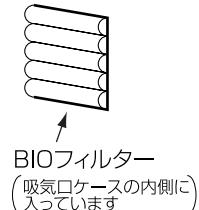
5. 吸気口のお手入れ

●お願い

2週間に1回程度吸気口を掃除してください。
(汚れがひどくなりますと蒸気の出が弱くなり、また正しい温度や湿度を検知しにくくなりますのでこまめに掃除してください。)

(1) 吸気口ケースを本体側面からはずしてください。

ケースの下部を手前に引く。



(2) 掃除機の吸口でほこりを吸い取ってください。

(BIOフィルターのほこりも取ってください。)
(BIOフィルターは水洗いしないでください。)

・交換用BIOフィルター お買い上げの「販売店」にてお買い求めください。

名 称	BIOフィルター	枚 数	1枚
品 番	SHT100N019	希望小売価格	420円(税込)

(3) 吸気口を元通り本体に取付けてください。

(BIOフィルターの波面をケースの内側に入れ) てください。

お知らせ

吸気口をはずしたまま使用しないでください。
故障の原因になります。

(4) Wセンサー空気取入口にたまつたほこりなどは掃除機でほこりを吸い取ってください。

同時にマイナスイオン発生口のほこりを吸い取ってください。



6. 蒸発布の交換

(1) 交換時期

- ①蒸発布は、運転時間約500～600時間を目安に必ず交換してください。(1日8～10時間運転で約2ヶ月) (蒸発布のお買い求め方法…[5ページ])
- ②交換せずに使用しますとスケールの固まりで吸水能力が低下し、運転がたびたび停止する場合があります。
- ③交換の必要な蒸発布(お知らせ参照)は洗っても再度使用出来ませんので、不燃物として廃棄してください。

●お願い

- ・新しい蒸発布に交換後、運転を再開する場合、タンクをセットしてから約10分後に運転スイッチを入れてください。
- ・異常停止する場合には、蒸発布を一旦外し水を絞ったあと、再度押し込んでください。

(2) 蒸発布の交換方法

・蒸発布の取り外し、取り付け手順については、11ページの(2)、(6)項をご覧ください。

お知らせ

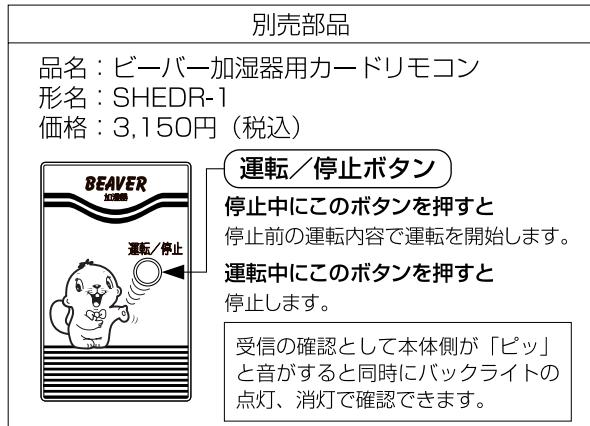
- ・蒸発布がコゲ茶色で焼きついたようになっている場合は、水分中の鉄分(スケール)が多く吸着されたものであり、焼けたものではありません。その変色がひどい場合は、新しいものと交換してください。
- ・蒸発布が固くなっていたり、スケールが大量に付着していたり又、破損した場合も同じように新しいものと交換してください。
(交換せずに使用しますと、吸水能力が低下し、運転がたびたび停止する場合があります。)

リモコン運転のしかた

本機は別売部品のリモコンでの使用や、またビーバーエアコンと連動したリモコン操作運転(加湿器の運転・停止)ができます。

(1)別売カードリモコンでの操作

はなれたところからでも簡単に運転／停止操作ができます。



(2)エアコンとの連動運転

ビーバーエアコン(Sシリーズ)との連動運転が可能です。エアコンからの信号により加湿器の運転／停止操作ができます。

●お願い

- 加湿器をエアコンからの信号が受信できる範囲内で設置してください。

お知らせ

- エアコンの湿度センサーにより運転・停止の信号が加湿器に送信され、加湿器は自動的に運転・停止に切換ります。
- エアコンからの信号が優先となります。
- エアコンとの連動運転の場合、信号が送られても、受信確認音はしません。（バックライトの点灯、消灯で確認できます。）

保管のしかた

(1)お手入れした後、水をよくふきとり本体をかけ干してください。

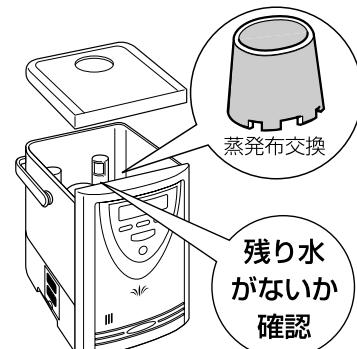
●お願い

- 使用済の蒸発布は必ず取り外し、加熱筒についたスケールは水に浸した柔らかい布でふきとってください。新しい蒸発布に取り換えてください。
- タンクや本体内に、残り水がないか確認してください。

(2)もとの包装ケースに入れるか、ポリ袋などで包み湿気の少ないところで保管してください。

●お願い

湿ったまま保管しますとカビや故障の原因になります。



仕様

形 式	SHE50AR
電 源	単相100V 50-60Hz共用
加湿量(連続運転時)	500mL/h
消費電力(最大)	370W(3.7A)
タ ン ク 容 量	約4.0L(運転時間約8時間)
適用床面積(目安)	木造和室:14m ² (8.5畳)、 プレハブ・コンクリート洋室:23m ² (14畳)
外 形 尺 法(高さ×幅×奥行)	308×221×295mm(ハンドルを倒した状態)
質 量	約3.3kg(満水時約7.3kg)
電 源 コ ー ド	125V 7A マグネットプラグ式1.4m(市販品も使えます)

故障かな?と思ったときは

・次のような場合は故障でない場合がありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。

状 態	もう一度点検してください	直しかた	参 照
運転／停止スイッチを押しても運転できない。 (バックライトが点灯しない)	マグネットプラグが外れていますか。	プラグを正しく接続してください。	7ページ
	給水マークが点滅していませんか。	タンクに水を補給してください。	9ページ
給水しても給水マークが消えない。	フロートの上にゴミが付着していませんか。	付着しているゴミを取り除いてください。	11ページ
風は出るがすぐに蒸気がでない。	運転を始めた直後ではありませんか。	運転を始めてから蒸気が出はじめるまでに約1~3分かかります。	7ページ
風は出ているが蒸気がでていない。	部屋の湿度が極端に高くなっていますか。	現在湿度が設定したモードの湿度以上になっているため、加湿を停止しています。	8ページ
湿度設定ができない。	おまかせ・おやすみ又は節約運転を設定していませんか。	運転切換スイッチを押して湿度設定運転モードにしてください。	8ページ
蒸気がにおう。	本体内部がよごれていますか。	お手入れにしたがって掃除または、蒸発布を交換してください。	11ページ
蒸気の出が悪い。(見えない)	周囲の温度、湿度などの条件により見えにくい場合があります。	タンクの水が減少していれば故障ではありません。	7ページ
	エアフィルターにほこりがつまっていますか。	エアフィルターの掃除をしてください。	12ページ
運転がたびたび停止する。	スケールが溜まっていますか。	新しい蒸発布に交換してください。	12ページ
	蒸発布がきちんと取り付けられていますか。又蒸発布が取り付けてありますか。	蒸発布をきちんと取り付けてください。	11ページ
加湿運転を停止したのにファンが回っている。	運転を停止したばかりではありませんか。	本体内の温度を下げるため、ファンが約10分間回って停止します。	9ページ
	周期的にファンが回り出していますか。	湿度表示をより安定させる為、強制的にファンが回り出します。(故障ではありません)	7ページ
マイナスイオンが出ない、見えない。	イオンランプは点灯していますか。	イオンランプが点灯しているときはマイナスイオンが発生していますがマイナスイオンは見えません。	8ページ
	イオンランプが点滅してましたか。	マイナスイオン発生口の異物除去または付着しているゴミを掃除機で取り除いてください。	14ページ

・安全装置について

この商品には以下のような安全装置を備えておりますが、日常のお取扱には十分ご注意ください。

- ①フロートスイッチ……水槽の水位が規定値より下がると作動して、加湿を停止します。(給水マーク点滅)
- ②バイメタルスイッチ……万フロートスイッチが作動しない場合、および蒸発布の取り付け忘れの場合の安全装置です。加熱筒の温度が異常に上昇すると作動して停止し、温度が下がれば自動復帰します。
- ③温度ヒューズ…………バイメタルスイッチも作動しない場合は、このヒューズが溶断して全停止します。
(自動復帰しません。)
- ④マイナスイオン用……マイナスイオン発生器に異常が発生した時、マイナスイオン運転を停止します。
(イオンランプ5回点滅後消灯でお知らせします。)
 - 再度イオンスイッチを押し、イオンランプ点滅を確認したら、発生口の異物除去またはゴミを掃除機で取り除いてください。

保証とアフターサービス

修理・取扱 お手入れなど のご相談は	まず、お買い上げの販売店へお申しつけください。 転居やその他の理由でお困りの場合で ●修理のご相談は「修理相談窓口」へ ●お取り扱い方法、お手入れ方法、その他のご相談は「お客様ご相談センター」へ
保証書	裏表紙に付いてます。 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。 内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
補修用性能部品の 最低保有期間は	弊社は、この加湿器の補修用性能部品を製造打切り後、最低6年間保有しています。
修理を依頼 されるときは	「故障かな?(14ページ)」にしたがってお調べください。なお、不適合があるときは、運転スイッチを「停止」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。 〈ご連絡いただきたい内容〉 1.品名→ビーバーインバーター加湿器 2.形式→本体背面に表示してあります。 3.製造番号→本体背面に表示してあります。 4.お買上げ→年・月・日 5.故障の内容→できるだけ詳しく 6.お名前・ご住所(付近の目印なども)・電話番号

修理相談窓口

サービスフロントセンター（全国共通） **0120-975-365** フリーコール

お客様ご相談センター

北海道地区	011-823-7806	札幌市南区澄川三条1-9-28
東北地区	022-783-9384	仙台市宮城野区苦竹2-7-20
関東甲信越地区	03-3892-3088	東京都荒川区町屋1-38-16
中部地区	052-735-7301	名古屋市昭和区鶴羽町2-2
近畿地区	06-6401-2813	尼崎市長洲東通1-7-13
中国・四国地区	082-503-2333	広島市西区観音新町1-20-24
九州地区	092-629-3446	福岡市東区松島5-15-16

*所在地、電話番号などについては、変更になることがありますのであらかじめご了承ください。



ビーバーインバータ 加湿器 保証書

持込修理

※形式	SHE50AR		※製造番号					
※お買い上げ日	※お客様	お名前	ご住所〒		電話			
年月日			様					
保証期間(お買い上げ日より)	※販売店	店名	ご住所〒		電話			
本体1年間			印 押印					

ビーバーインバータ加湿器ご愛用の皆様に、安心してご使用いただくために、三菱重工空調システム株式会社は、その品質を下記の通り保証いたします。

(記)：保証期間中に取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で万一故障しました場合は、本書をご提示の上、上記のお買上販売店に修理をご依頼してください。「無料修理」いたします。(持込修理扱いです)

- ご転居、ご贈答品等で上記の販売店に修理がご依頼できない場合は、修理相談窓口へご相談ください。
- 出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受ける場合があります。
なお、次の場合は保証期間中でも「有料修理」といたします。
 - ①誤ったご使用及び弊社の認めない修理又は改造による故障及び損傷
 - ②一旦納入した後に、移動或いは火災、塩害、ガス害、その他、天災地変、公害や異常電圧により故障、或いは損傷を生じた場合
 - ③車両、船舶等に備品として搭載された場合の故障及び損傷
 - ④保証書のご提示がない場合
 - ⑤保証書欄の記入項目「お名前、販売店名印、お買い上げ日」に記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合

これらの保証は、日本国内に納入された場合に限り適用されます。

(ご注意) 本証書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

お客様の法律上の権利について

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて「無料修理」をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げ販売店、修理相談窓口、又はお近くのお客様ご相談センターにお問合せください。

保証期間経過後の修理等について

- ・修理によってインバーター加湿器の機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
- ・インバーター加湿器の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後、最低6年間保有しています。

修理メモ	修理年月日	修理内容	担当
年月日			
年月日			

三菱重工空調システム株式会社



★長年ご使用の加湿器の点検をぜひ！

ご使用の際に
このようなことは
ありませんか

- コゲくさい臭いがする。
- 水漏れする。
- 本体が異常に熱い。
- 運転中異常な音がする。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理(有料)をご相談ください。

三菱重工空調システム株式会社

設備システム本部 システム製造部 〒452-0064 愛知県西春日井郡西枇杷島町旭町3-1